

令和5年度千種区区政運営方針（あじさいプラン2023）取組結果について

1 事業数

64事業

2 評価基準

4段階による自己評価（区独自基準）

S	目標を上回った
A	ほぼ目標どおり
B	目標を下回った
C	未実施

3 評価結果

めざすまちの姿	事業数	自己評価			
		S	A	B	C
1 地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち	13	2	7	4	0
2 安心して子育てができるまち	11	2	5	4	0
3 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち	12	6	3	3	0
4 魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち	9	3	5	1	0
5 快適な都市環境とを感じるまち	10	1	7	2	0
信頼される区役所づくり	9	3	5	1	0
計	64	17	32	15	0

令和5年度千種区区政運営方針（あじさいプラン2023）取組結果

<評価について>

- S・・・目標を上回った
- A・・・ほぼ目標どおり
- B・・・目標を下回った
- C・・・未実施

めざすまちの姿1 地域で支え合い、安心・安全に暮らせるまち（13事業）

取り組み名	取組結果	評価
(1) 指定避難所開設・運営訓練	・14学区で計18回実施	B
(2) 地区防災カルテを活用した地域防災活動の推進	・14学区で計29回実施	B
(3) 風水害・地震に備えた防災訓練	・総合水防訓練・水防工法訓練・総合防災訓練・災害時医療救護所訓練を予定通り実施	A
(4) 防災診断書を活用した防災提案・支援	・防災診断実施率100.0% (実施済自主防災組織数：324/324 新規実施済数：3)	S
(5) 消防団員確保の支援	・消防団員募集ポスターの掲示及びリーフレットの配布等のPR活動を積極的に行い、25名が入団した。	B
(6) 戸別訪問等による家具等転倒防止対策の推進	・消防職員等による戸別訪問を実施 4学区（東山、宮根、千代田橋、千種） ・家具転倒防止ボランティア施行件数 21件 ・家具等の転倒防止対策を実施している区民の割合 74.7% (令和5年度千種区区民アンケート調査結果)	A
(7) 救命講習等	・自主防災組織への応急手当講習 18回 2,025名 ・大学等学生への応急手当講習 32回 572名 ・定期救命講習 2回 12名	S
(8) ちくさ子ども防災キャンプ【千種区独自】	・10月14日・15日に実施し（参加者45組95名）、参加者アンケートでは満足度100%を記録 ・これまでの市立小学校に加え、市内の国立小・私立小に通う千種区在住児童に対しても参加者を募り、1組が参加	A

取り組み名		取組結果	評価
(9)	わかものを対象とした防災講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新規講座の開拓や、シェイクアウト訓練を取り入れ参加者の興味を引くなど、工夫しながら実施した。 5月 5日 名経大市邨高校防災委員への防災講話 78人 7月 1日 椋山女学園大学連携協定による防災講座 31人 7月20日 名古屋商業高校防災講話 全学年 約900人 9月 3日 総合防災訓練 千石小学校児童 205人 8月19日 家族でまなぼうさい 80人 11月14日 名経大市邨高校防災講座 2年生 457人 11月21日 名経大市邨高校防災講座 1年生 525人 	A
(10)	外国人の防災力向上のための取り組み【新規】	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋国際センターおよび区内の日本語学校等と連携しながら外国人向け防災講座の実施に向けた準備と調整を行ったが、令和6年能登半島地震の被災地支援のため延期（再調整）となった。 ・国際センターが外国人向けに実施する防災講座に参加。 令和5年6月11日、令和5年6月18日 ・千種区内の日本語学校等と連携し、外国人向け防災講座の実施に向け調整。 令和5年11月10日 NSA日本語学校 1年生向け防災訓練に参加 	B
(11)	防犯活動の推進【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度と比べて大幅に被害件数が増加していた特殊詐欺及び自転車盗に注力して啓発活動を実施 ・千種区内全15学区にて、学区、警察、金融機関等と協働した防犯活動を実施 	A
(12)	交通安全啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生に対応した啓発や自転車利用者への啓発など、区の事情に応じた啓発活動を実施 ・高校生との自転車安全利用啓発活動の実施や高齢者の集う施設での講話などを開催し、今後の事故防止につなげる活動を実施 	A
(13)	地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会・自治会への加入促進のため、住宅・不動産業者451社に働きかけ、加入促進チラシを送付し、活用を促した。 ・星ヶ丘学区のクリーンキャンペーンに愛知総合工科高校が参加し、地域と学生が協働して実施 	A

めざすまちの姿2 安心して子育てができるまち（11事業）

取組み名	取組結果	評価
(1) エンゼル訪問（赤ちゃん訪問） 【千種区から全市展開】	<ul style="list-style-type: none"> ・主任児童委員を中心に対象世帯を訪問 対象（転入）580(35)件中、479(29)件訪問/ 82.6% ※未訪問101件中45件は、新型コロナにより対面の訪問を控え、資料をポスティングすることで対応 ・未訪問101件については、保健センターにおける3か月健診等の受診状況や転居を確認済 ・主任児童委員連絡会を開催（8月23日、2月15日） ・配布物の外国語翻訳の実施 （大和学区2件1言語、春岡学区1件7言語、星ヶ丘学区1件3言語） 	S
(2) 子育てサロンの支援 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンを全15学区で実施 ・ネットワークちくさによる支援 4学区実施（高見、春岡、宮根、千代田橋） ・補助金交付 7団体（大和、高見、春岡、見付、星ヶ丘、自由ヶ丘、自由ヶ丘女性会） ・6学区（上野、高見、田代、自由ヶ丘、富士見台、宮根）に保育案内人が出張し、保育園案内を実施 ・主任児童委員連絡会を開催し情報共有（8月23日、2月15日開催） 	A
(3) こあらっち子育て応援講座 【千種区独自】	<p><イライラしない子育て講座> 参加人数：会場参加：7名、オンライン参加22名 計29名 開催日程：5月30日 講師：青少年養育支援センター陽気会 杉江健二氏 役に立ったと思う参加者の割合：100%（アンケート回収数24人）</p> <p><たたかないどならない子育て連続講座> 参加人数：12名（申込人数：36名） 託児：9名 開催日程：9月12日、19日、26日、10月3日、10日、17日 全6回 講師：Office MOTOHIRO代表 競朗子氏 役に立ったと思う参加者の割合：100%（アンケート回収数12人）</p>	A
(4) 子育てネットワーク事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場の開催 子育て広場in千種 9月2日(土)に開催（計61世帯184人参加） 会場：千種スポーツセンター /主催：千種区保育園連絡会 ミニ子育て広場 年7回開催（6月～1月/計449世帯950人） 会場：千種スポーツセンター、東スポーツセンター、千種児童館、千種文化小劇場、香流橋地域センター/主催：ネットワークちくさ ・子育て支援機関の連携 子育て支援ネットワーク連絡会を開催（5月18日/社協、エリア支援保育所、生涯学習センター、主任児童委員、幼稚園、保育園、保健センター、区役所等） ネットワークちくさ代表者会議を開催（2月20日） ・「子育て支援情報がいど」の作成：6,000部発行予定 ・保育案内人の出張保育園案内 13回実施 （子育てサロン9回、ミニ子育て広場4回、地域子育て支援拠点1回） 	B
(5) 外国人の子育て支援 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育て応援ガイド」の配布 区役所窓口、医療機関（産婦人科、小児科）等 ・TV通訳機能が付いたタブレット端末の活用 活用実績：2件（子育て支援と児童虐待に係る相談及び家庭訪問での活用）／満足度100% エンゼル訪問等の家庭訪問で活用について、主任児童委員連絡会（2月）でタブレット端末の利用方法について再度周知 ・サロンチラシの翻訳の希望調査をし翻訳を実施 （大和学区2件1言語、春岡学区1件7言語、星ヶ丘学区1件3言語） ・「R5年度版子育て支援情報がいど」の翻訳（英語） 	B

取り組み名		取組結果	評価
(6)	児童虐待の防止 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者会議を毎月開催し、児童虐待防止施策の共有、要援護家庭に関する情報交換や支援内容に関する協議を行い、適切な連携の下で対応 ・5月・11月児童虐待防止推進月間には、学生と連携したPRコーナーの設置や目標値を超える庁舎玄関・東山動植物園入口での啓発活動や、標語を作成 ・5月に重篤な虐待事例が発生したが、その反省から保健センター・児童相談所をはじめとする関係機関と連携を密にとる体制づくりをした 	A
(7)	思春期セミナー	19校実施	A
(8)	子育て家庭の交流支援 親子クッキング教室	<ul style="list-style-type: none"> ・実施日時・参加人数 令和5年7月27日・8組（保護者8名、子供9名） 令和5年8月4日・8組（保護者8名、子供11名） ・実施場所 今池ガスビル4階 東邦ガス料理教室 ・参加者の満足度 94% 	S
(9)	乳幼児期の食事づくりの支援（子育て応援レシピ集の作成） 【千種区独自】 【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・レシピ集Vol. 4の作成・発行（発行部数：2,000部） ・レシピ集vol. 2、vol. 3の配布 3か月児健診、児童館、エリア支援保育所、ミニ子育て広場等にて配布 ・区ウェブサイトとクックパッドへレシピ集を掲載 クックパッド総アクセス数26,913件（3月末） ・離乳食レシピ動画の作成（区の特性に応じたまちづくり事業） vol. 1～3より66メニューを分かりやすく動画化。R6. 4～順次公開。 （通常動画20本、ショート動画50本） ・Logoフォームを活用したアンケートの継続。 	B
(10)	青少年の健全育成 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の青少年をまもるキャンペーンでは、愛知淑徳中学校バトントワーリング部に演技を披露していただき、4年ぶりに地域の学校と協力して開催 ・豊かな人間性を育むために、こども美術展を初開催 ・「子ども安心ドリル」「こあらっちぬり絵」を活用した啓発にも引き続き取り組んだ。 	B
(11)	高校生・大学生を対象とした薬物乱用防止啓発活動 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・相山女学園大学文化情報学部メディア情報学科（現情報社会学部情報デザイン学科）の授業を利用して、学生に薬物乱用防止啓発活動の重要性を学ばせ、若年者に対する効果的な啓発方法や啓発グッズの考案を行ってもらった。 	A

めざすまちの姿3 誰もがいきいきと健康で安心して暮らせるまち（12事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区版エンディングノート「私の想いをつないで帳」の普及・啓発 【拡充】 【千種区独自】	・講演会の実施 開催日：2/27（火） 内 容：「自分らしく安心して暮らしていくために」 講 師：百草法律事務所 弁護士 宮本 英行 参加者：70名 ・講座を11回実施	B
(2)	高齢者の見守り活動	・高齢者福祉相談員による訪問を実施 ・高齢福祉課に依頼し、敬老手帳交付の案内チラシを修正し、緊急連絡先の記入を促す内容にした。65歳到達者に敬老手帳を郵送する時は封筒にラベルも貼り、周知を図った。既に敬老手帳を所持している方向けには福祉課で案内チラシを作成し、民生委員を通じて周知 ・千種区高齢者見守りネットワーク連絡協議会を開催し、関係機関・事業者等の連携強化を図る。	A
(3)	高齢者の仲間づくり支援	・ペタンク大会など5種目のスポーツ大会を開催（延483名） ・親睦のつどい（158名） ・さわやか研修旅行（39名） ・趣味の作品展（来場者220名） ・文化健康講演会や演芸大会を開催 ・高齢者向けパンフレット「千種区いきいきガイド」への老人クラブ加入案内の掲載 ・加入促進の記事を広報なごや千種区版に掲載（1月）	A
(4)	認知症サポーターの育成・活動支援	・認知症サポーター養成講座の実施（885名 延10,528名） ・若年層（小・中学生）向けの養成講座の実施（110名） ・認知症サポーターによる認知症カフェの運営（2会場） ・区民まつりでの啓発活動（550名）	S
(5)	認知症に対する正しい理解と知識の普及 【拡充】	・市民講座開催（4回 325名） ・専門職研修会（オンライン）（5回 141名） ・認知症市民シンポジウム（オンライン同時開催）（参加者118名） ・愛知淑徳大学と共催で認知症教室を開催（2回 49名） ・区民まつりでの普及啓発（ブース出展）（参加者550人） ・若い世代向け「千種区★名東区認知症について学ぼうIN星が丘」を開催（137組236名参加） ・認知症関連動画の公開（対象者118名）	B
(6)	千種つるかめセミナー	〈つるクラス〉 計183名参加（満足度99%） 5月フレイル講演会（総論編）… 20名参加 7月フレイル講演会（口腔編） 39名参加 9月つるかめセミナー（運動指導①） 20名参加 11月つるかめセミナー（運動指導②） 17名参加 1月フレイル講演会（栄養編） 18名参加 3月フレイル講演会（運動編） 69名参加	S
		〈かめクラス〉 計29名参加（満足度100%） 4月 男性クッキング（初級編） 3名 5月 かめクッキング 6名 7月 男性クッキング（中級編） 3名 9月 かめクッキング 7名 12月 男性クッキング（初級編） 4名 2月 かめクッキング 2名 3月 男性クッキング（中級編）……4名	S

取り組み名		取組結果	評価
(7)	ママのためのロコモ予防教室	<ul style="list-style-type: none"> ・全4コース（各2回実施） 1コース ①5月15日 4名参加（満足度100%） ②6月19日 2名参加（満足度100%） 2コース ①8月4日 5名参加（満足度100%） ②9月12日 4名参加（満足度100%） 3コース ①11月9日 3名（満足度100%） ②12月8日 2名（満足度100%） 4コース ①2月5日 3名（満足度100%） ②3月8日 3名（満足度100%） ・メガロス千種に委託開催 10月27日 11名（満足度100%） 	S
(8)	歯の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の一日健康センター（令和5年5月25日） 参加者数66名、満足度100% ・歯と口の健康週間ポスターを仮庁舎で掲示（令和5年6月） ・8020表彰・歯と口の健康週間ポスター表彰（令和5年10月26日） 対象者 8020表彰 225名 ポスター表彰 8名 ・保健センターでの健康教室等（48回、343名）満足度100% ・幼稚園・保育園での保健指導（23回、837名） ・幼稚園、保育園のフッ化物洗口（9園） 	S
(9)	啓発事業の実施及びヘルプマークの普及【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・障害への理解を深めるための啓発事業「千種区障がい福祉フェスタ2023」を開催（11月）（参加者320名） ・「障害者差別解消推進条例の理解推進を図るためのガイドブック」を窓口及び各種イベント（11月千種区障がい福祉フェスタ2023、12月イオンタウン千種での授産製品販売イベント）で配付 ・「障害のある人を理解し、配慮のある接し方をするためのガイドブック」を民児協会長連絡会、東山動物園での授産製品販売イベントで配付 ・「ヘルプマーク」、「ヘルプカード」の周知場所 区公式ウェブサイト、区役所庁舎内、地下鉄池下駅・東山公園駅、東部療育センター ・障害者施設の新人を対象に自立支援連絡協議会と連携し障害者理解研修の実施（7月）（参加者25名） 	B
(10)	障害のある人への情報発信と防災研修	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議や各部会の会議等を開催（運営会議、部会ともに毎月） ・事業所マップ、ガイドブックを窓口及び事業所で配付し、障害者自立支援連絡協議会のホームページでも公開 ・障害者手帳（身体、愛護、精神）の新規交付時に事業所マップ、ガイドブックを配付 ・防災研修の実施（事業所BCP作成のための勉強会 計2回 7月 9月 31人参加） 	A
(11)	授産製品の販売促進【拡充】	<ul style="list-style-type: none"> ・販売カタログ、販売事業所マップを窓口及び関係機関に配付 ・「千種区障がい福祉フェスタ2023」において、授産製品の販売事業所の紹介 ・授産製品の販売を実施（庁舎内月2回、4月高見学区、8月・11月県精神医療センター、9月・12月イオン） ・東山動植物園の秋まつりにあわせて、授産製品販売イベントの実施 ・区HPのリニューアル（10月） 	S
(12)	発達障害家族のつどい【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、発達障害の診断を受けた方のご家族を対象に、家族同士の交流、発達障害者への接し方の講習、福祉制度などの情報提供を行う交流会を開催（参加者延べ88人） 家族教室に参加したことで、不安や負担が軽減したと回答した参加者の割合100% 	S

めざすまちの姿4 魅力と活力にあふれ、誰もがまちの魅力を語れるまち（9事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区名所案内	<ul style="list-style-type: none"> ・情報リーフレット「みちくさマップ」配布 ・千種区みちくさフォトコンテスト実施（令和6年5月まで開催） ・2月17日 プロギングイベント（みちくさマップ「千種公園とみずのみちめぐり」「覚王山と織田・徳川名刹めぐり」コースを活用） ・3月～ みちくさウォーク（令和6年4月9日まで開催）（「古井の里と丸山村めぐり」コースを活用） 	A
(2)	千種区民まつり	<ul style="list-style-type: none"> ・10/1（日）に平和公園メタセコイア広場にて、新型コロナウイルス感染症によるイベント制限が行われる以前の形式で区民まつりを実施 来場者数 34,000人 来場者アンケート集計結果 総回答数385件、満足度99.5% 	S
(3)	まちかど発掘事業	<ul style="list-style-type: none"> ・9/24（日）「お月見どろぼうとまちあるき」 内容：覚王山周辺のまちあるき（揚輝荘～日泰寺～八十八箇所札所～千躰地藏堂）、お月見どろぼう、オリジナルバッグ作り 参加人数：子ども14人（付添大人14人、幼児2人） ・12/2「城山の紅葉を楽しむ～まちの魅力をみつけよう～」 内容：城山周辺のまちあるき（相応寺～正法寺～善篤寺～路地裏の紅葉～大林寺～相応寺）、茶筌供養、呈茶、歴史講演会、揚輝荘案内 参加人数：裏路地の紅葉めぐり67人（定員60人）、相応寺のつどい56人（定員40人） ・11/18～12/3「揚輝荘インスタレーション展示とワークショップ」 内容：相山女学園大学の学生による揚輝荘をテーマとした展示、ストラップ・しおり作りのワークショップ ワークショップ参加人数：90人 	S
(4)	アジサイいっぱい運動 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽（区内コミセン・どんぐりひろば等20カ所、合計478株） ・オリジナルバッグ作り（申込19人、参加12人） ・茶屋ヶ坂公園で地域のボランティア等と協働した植栽・維持管理（剪定・寒肥） ・6月の「千種区アジサイ月間」PR（庁舎内における表示設置、剪定した花の配布など） ・6月から駐車場、駐輪場に区の花アジサイのPRポスターの掲示。 ・写真募集（48点、応募者：15人） ・写真展示（8/1～30東山公園駅展示コーナー、9/4～10/6：区役所、10/11～16：星ヶ丘ギャラリー） ・中日新聞における茶屋ヶ坂公園とアジサイについての記事掲載 ・区民アンケート結果：「区の花が「アジサイ」であることを知っていた」…49.9%（昨年比6.1%増） ・フラワーアレンジメントワークショップ（申込26人、参加12人） ※定員12人の事前申込制で募集。 ・アジサイの育て方解説動画の作成（2本） 	A
(5)	千種区マスコットキャラクター「こあらっち」の活用 【千種区独自】	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所2階へ着ぐるみを常時展示 ・着ぐるみの貸出や区のイベント・キャンペーンへの参加（夏の青少年をまもるキャンペーン・虐待防止月間イベント等43件） ・広報なごや9月号千種区版裏表紙面への記事掲載 ・Facebookを活用したぬい撮りの投稿 ・社会福祉協議会や保健センター環境業務室、消防署へのイラスト提供 ・広報なごやへのこあらっちイラストの掲載 ・区役所2階でのトレーディングカード配布ポスターの掲示（203枚配布） ・区民まつりでトレーディングカードの配布 ・区民アンケート結果：「こあらっちご存じでしたか。」…48.7%（昨年比3.5%増） ・「こあらっち」グッズを作成し、PRに活用（トートバッグ・ハンカチ） ・こあらっちガチャの設置、運用 ・こあらっちがジョギングウォーキング大会のチラシを庁舎周辺で配布 	A

(6)	区公式ウェブサイト等の広報ツールを活用した魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> 区公式ウェブサイト更新件数(279件) アクセス件数(760,808件) 前年度比-2.2%(目標:前年度比10%増) 「ちくさkeyちゃんねる」へ動画12本を掲載 ちくさボランティアカメラマンによる区の魅力的なスポットや各種イベント、季節の風景等の写真をFacebookに掲載(107件) チラシ配信サービスshufoo!による広報の活用(5件) 3月～ Xの運用開始(投稿件数18件) 	B
(7)	文化芸術活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> 春と秋にいけばな展を開催(春 291人、秋 208人) 6月～9月俳句・川柳コンクール作品募集(俳句部門585句、川柳部門506句、子ども部門1,201句の応募) 10月区民美術展に175人が来場(日本画6点、洋画8点、書23点、工芸・彫刻8点、写真18点の応募) 	S
(8)	生涯スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> 20のスポーツ事業を実施 合計参加者数 2,623人 	A
(9)	区役所と生涯学習センターとの連携による生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度区役所・生涯学習センター共催事業受講者アンケート満足度は95% 全ての事業で9割以上の方が満足と回答 	A

めざすまちの姿5 快適な都市環境と感ずるまち（10事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	クリーンキャンペーン	・15学区 1,662人参加 ・区内の小学校、公園を中心に、区民やボランティア団体・関係行政機関参加のもと、クリーンウォーキングや啓発活動を実施	A
(2)	道路・公園・河川の適切な維持管理	・車道舗装の修繕や道路・公園の除草清掃などを計画的に行い、安全の確保を最優先とした適切な維持管理を実施	A
(3)	資源とごみの分別等の周知	・資源・ごみの分別の仕方や排出方法等の周知のための取り組みを計画どおり実施し、当該取り組みを年間26件以上実施するという目標を達成（取り組み実施件数：26件）	A
(4)	ペットの飼い主マナーの向上 【千種区独自】	・千種わんだフルサポーターとなることの宣言（123名） ・のら猫の避妊去勢手術券の交付（172件） ・総合防災訓練において、平常時から飼主が行っておくべき対策を啓発（9月3日） ・飼主マナーパトロール実施回数5回（実施して効果があったとの回答80.0%） 上野学区（10月12日）、高見学区（10月19日）、宮根学区（11月16日） 千代田橋学区（1月11日）、大和学区（2月16日）	S
(5)	空家の適切な管理の促進	・相談件数101件のうち要対応件数45件 ・対応を行った空家のうち、9件が解消済み、4件が一部解消、9件が対応予定であった 対応率48.9%（目標70%）	B
(6)	空地をきれいにする運動	・調査、清掃依頼、勧告（18か所）実施 ・除草実施率74.2%（目標70%）	A
(7)	住居の不良堆積物への対策	・相談件数6件中、不良な状態のおそれなし4件、支援により改善2件 ・住居の不良堆積物対策会議を3月21日に実施し、各関係部署における役割と「不良な状態」と認定された物件が出た場合の対応等について確認	A
(8)	自然観察会	・第1回自然観察会 5月20日、参加者7名、昭和区鶴舞公園で実施 ・第2回自然観察会 3月9日、参加者18名、千種区茶屋ヶ坂公園で実施	A
(9)	地域貢献メニューへの参加促進	・広報なごや等で愛護会に関する情報を提供するとともに、関心のある区民に丁寧に説明するなどの取り組みを行った結果、愛護会の新規設立が1団体、解散が3団体あり、全体として2団体減少 ・街路灯パートナー等について、広報なごやへの掲載、PRチラシの配架等の広報に努めたが、新規契約はなし	B
(10)	花の名所公園の情報の発信	・茶屋ヶ坂公園のアジサイ、千種公園のユリの開花時期を千種土木事務所のウェブサイトや教えてダイヤルで発信し、積極的な情報発信に努めた	A

信頼される区役所づくり（9事業）

取り組み名		取組結果	評価
(1)	千種区区民会議	・11月に区民会議を開催(参加者18人(在住13名 在勤3名 在学2名))	A
(2)	区民意識調査(区民アンケート)	<ul style="list-style-type: none"> ・現ビジョンの成果指標の最終値のためのアンケートを実施 調査期間：6月23日～7月31日 対象者：区在住の18歳以上の男女2,000人(外国人含む。無作為抽出) 調査項目：千種区のまちの姿について、区役所の広報などについて、千種区の将来像について など 回答数：666人(33.3%) ・次期ビジョンの成果指標基準値のためのアンケートを実施 調査期間：8月3日～9月1日 対象者：区在住の18歳以上の男女2,000人(外国人含む。無作為抽出) 調査項目：千種区のまちの姿について、千種区の将来像について など 回答数：883人(44.2%) 	B
(3)	地域担当制による地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所・保健センターの課室長、地域力推進室職員を地域担当として学区の実施する事業に参加した ・クリーンキャンペーン(15学区) ・交通大監視(年4回) ・学区防災訓練(10学区) ・区政運営方針(あじさいプラン2023)の説明(10学区) ・学区夏祭り・盆踊り(11学区) ・学区敬老行事(10学区) ・学区成人式(14学区) 	A
(4)	千種区わかもの会議【千種区独自】	・名古屋市への就職に興味のある学生及び区政に関心のある学生を対象に、サマープログラムを2回実施	A
(5)	わかもの向けの選挙啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙出前トークを中学校から大学で実施(4校、参加者665名) ・千種区わかもの選挙サポーターに新たに2名が登録(現在18名) ・わかもの向けの選挙啓発動画の配信 ・「明るい選挙千種区推進のつどい」開催(11月 55名) ・千種区民まつり(模擬投票) 投票者数 936人 	S
(6)	窓口環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月に仮設庁舎に移転して1年目ということで、発生している不備をチェックし、窓口環境の改善を行った ・マイナンバーの来客、問い合わせ増加に対応するため、窓口環境の改善を行った ・市民課の繁忙期(3/18～)において、待合スペースの増設、モニター設置、各課室からの応援による窓口整理などにより、待合環境の改善を行った ・手すり、トイレ等が障害者に使いづらいという声があり、改修に向け調整を行った(R6.4改修予定) 	A
(7)	接遇の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「接遇・CS向上宣言」を策定、実施 ・区の地域特性を理解する研修の実施 ・11月に、窓口アンケートを実施(満足度97.0%) ・2月に、外部講師を招いて接遇研修を実施(2回 参加者 31名) 	A
(8)	業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・他所属業務体験研修(区独自研修)の実施(7月～8月 9名) ・「すみやか業務改善運動」の各課室の取り組み周知(11月) ・シャトルバスの待合環境の改善、会議等のペーパーレス化の推進などの業務改善を実施 	S

(9)	多文化共生に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～ 外国人総合案内（コンシェルジュ）を設置 ・5月～ 外国人総合案内にて外国人向けアンケートを実施（来庁者満足度99.0%） ・「やさしい日本語」研修を実施（合計133人の職員が参加） ・多文化共生セミナー「外国人の皆さんとカレーやスイーツを作ってみませんか？」を実施（参加者アンケート満足度94.1%） ・多文化共生パンフレットやウェルカムリーフレット、日本の生活ルール紹介動画を、区役所総合案内でコンシェルジュを通して来庁者に発信したほか、区内の多文化共生に関わる学校や団体に情報発信 ・外国人に向けた千種区の生活ルール・紹介動画「Life in Chikusaku」の再生回数合計710回（ゴミの出し方：258回、国民健康保険：156回、病院：132回、区の魅力：164回） 	S
-----	---------------	--	---